



2008年1月15日発行
医療法人社団以心会 中野胃腸病院 広報誌編集室
愛知県豊田市駒新町金山1-12
Tel.0565-57-1611/Fax.0565-57-1650
ホームページ : http://www.nakanohp.com
e-mail : mail@nakanohp.com

エヌアイだより



イラスト：畠山恵子 (外来看護補助)

病院の理念

私たちは、地域に根ざした消化器専門病院として、良き伝統を重んじつつ、慈愛と英知を結集し地域医療に貢献する。

基本方針

- 1. 私たちは、生命の尊重と人間愛を基本とし、専門技術、知識、心を患者さんに提供するものとする。
2. 私たちは、ひとりひとりが病院の顔であるとの意識を持って、患者さんに奉仕するものとする。
3. 私たちは、ひとりひとりが常に技術知識の研鑽、向上に励み、礼節をもって患者さんに心から満足してもらうサービスを提供するものとする。
4. 私たちは、患者さんにとって良い医療を、迅速にサービスするものとする。

患者の権利と責任

- 1. 適切な医療を公平に受ける権利があります。
2. 病状と経過、検査や治療の内容などについて理解しやすい言葉で説明を受ける権利があります。
3. 十分な説明と情報に基づき、自らの意志で医療内容を選択する権利があります。
4. 診療上得られた個人情報が保護される権利があります。
5. 患者さんは、私たちに對し自らの健康等に関する情報を正確に伝える責任があります。

豊田市南消防署合同消防訓練

施設課長 小川和敏



2007年11月1日(木) 豊田市南消防署と合同で消防訓練を行いました。例年この時期は夜間消防訓練を計画していますが、10月に南消防署から合同訓練の申し入れがあり急遽総合消防訓練を行うことになりました。

当日は、火災の発見・初期消火(化学消火器、屋内消火栓)・消防署への通報・患者さんの避難

誘導等、職員の訓練状況をチェックして頂きました。

南消防署から、指揮車・救助工作車・はしご車・救急車が出勤し、屋上からはしご車を使った救助活動、救急工作車を使った病室のベランダからの救助活動が行われました。消防職員のきびきびした動きに感心し、いかに迅速に確実な行動をする事が重要か実感しました。

訓練終了後の検討会では、「実際は消防車が到着するのに幾ら急いでも20分以上かかる」と聞き、改めて訓練に取り組む姿勢をさらに強固なものにし、消防車到着までの時間を職員だけでしのがなければならないと痛感しました。

貴重な経験をさせていただいた、豊田市南消防署の皆さん、ありがとうございました。



晩秋のある日、四季桜祭り開催中の小原村に出かけました。

混雑を避けるため早朝に出発したことが幸いし、東海環状道沿いの山々の紅葉が朝陽に映え、まぶしいほどきれいでした。

小原村には「四季の回廊」と名付けられた散策コースがあり、そこかしこで四季桜を楽しむことができますが、

中でも特に、四季桜と紅葉の競演が堪能できるのが西運寺の境内です。青空の中、薄桃色の桜と紅葉した木々、常緑樹の緑のコントラストが素晴らしく、思わず感嘆の声が上がります。また、県内で唯一、野積みの石垣が残る市場城址からは、三河の山々が遠くに臨まれ、その眺めもまた格別です。その昔、山中を人々が馬や籠で行き来する様や、攻めてくる武将の姿などが彷彿とさせられます。

「四季の回廊」は、運動不足解消にもちょうど良いコースです。お寺や城跡、四季の花が楽しめるよう工夫されています。泥をぶつけてお参りする「泥打観音」という不思議な観音様にも出会えます。

景色を楽しんだ後は、和紙のふるさとで和紙の作り方や作品を鑑賞。いつになく食欲を抑えて小原村で過ごした休日は、芸術の秋の締めくくりにふさわしい1日でした。



四季桜とは：4月と10月から12月の2度花を咲かせる桜で、小原北町の藤本玄碩という医師が、文政年間(1818年～)に名古屋方面から苗を求めて植えたのが、親木となって広まったそうです。樹齢100年以上になる古木もあり、県の天然記念物に指定されています。

後編 記集
新年あけましておめでとうございます。今年も良い年でありますように。さて、広報誌「エヌアイだより」は今年4月で10年目に入ります。この間、病気の話しやお薬・検査・食事・医療制度など各種医療情報、病院からのお知らせ、近隣地域へ出かけてトレッキングコースなどの紹介、等々試行錯誤しつつ様々な情報をお伝えし、またご意見、アドバイス等も頂きました。これからも、より内容の充実した、皆様にとって思いがたに育てていくつもりです。よろしくお願いいたします。(和)

外来栄養指導について

当院では糖尿病や高血圧症などの方に、外来栄養指導を行っています。自分の食生活は、良くない点があってもなかなか改善できないものです。外来では、普段食べている物を2日間分記入していただき、その内容から改善点を見つけていきます。「何、言われるんだろう?」「怒られるかな...」と思われるかもしれませんが、食生活のポイントを患者さんの生活スタイルに合わせた内容でお話ししますので、気軽に足を運んでください。興味のある方は診察時に医師または看護師にご相談ください。出来ることから一つずつ改善し、楽しく健康に食生活を送られるようお手伝いします。



(管理栄養士：登若菜)

指導時間

《外来・入院》
月～土曜日(祝日を除く)
午前 9:00～ 午後 3:00～
午前 10:00～ 午後 4:00～
午前 11:00～
〔個人指導：30分程〕

《入院》
毎週火曜日 午後 3:00～ 胃切除後
毎週木曜日 午後 3:00～ 潰瘍
〔個人又は集団指導：30分程〕

指導項目

糖尿病、高脂血症、潰瘍、高血圧症など
受付で希望日時を予約してください。

外来診察週間予定

Table with columns for days of the week (月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for various medical staff members (中野理事長, 山崎名誉院長, 深尾 院長, etc.) indicating their availability for outpatient visits.

*診察開始時刻は平日9時(土曜日は8時15分)です。
*出張・休暇等で不在の場合、診療体制が変わります。
(最新情報は電話でご確認ください。)

腹腔鏡下大腸切除術

外科部長：鈴木智貴

我々がいつも心がけている“からだにやさしい医療”の一つとして、腹腔鏡下大腸切除術についてお話しします。

はじめに

従来、癌の手術は大きくお腹を切る（約20-25cm）ことにより、癌とリンパ節をしっかりと、命を守ることを最優先に行われてきました。しかし、必要以上の切除により正常な機能がそこなわれ、術後障害に悩まれる患者さんが多いことが問題視されてきました。そこで、最近では過去の膨大な患者さんの術後経過などのデータに基づき、それぞれの患者さんの癌の進行度に応じた、大きすぎず、小さすぎない手術をすることにより、あまり機能を損なうことのない縮小手術を行うことがよいと考えられるようになってきました。そうした流れの中、エレクトロニクスの技術の進歩とあいまって、腹腔鏡という細いカメラ（径約5mm）を使った手術が発展してきました。我が国では1990年に腹腔鏡下胆嚢摘出術が初めて行われて以来、他の臓器の手術にも少しずつ適応されてきています。当院では腹腔鏡下手術を行っていますが、大腸の腹腔鏡下手術は難易度



が高く、まだ実施している施設は多くないのが現状です。

・腹腔鏡手術とは・・・

お腹の数カ所に穴を空け、トロッカーという管を通します。そこから腹腔鏡というカメラを挿入してお腹の中をのぞき、モニターに映し出された画像を通して行う手術です。最近では、ニュースキャスターの鳥越俊太郎さんが直腸癌で腹腔鏡下手術をうけられ、有



名になりました。また福岡ソフトバンクの王監督が腹腔鏡下胃全摘術を受けられたこともまだまだ記憶に新しいところですね。

・何がいいの？

まず傷が小さいことです。普通の大腸や胃の手術では、20cm程度の傷がお腹の真ん中につきますが、腹腔鏡手術では5-12mmの傷が5カ所程度つき、うち一つが5cm程度に広げられて臓器が取り出されます。そのため普通の手術に比べ、

- 術後の痛みが少ない。
- 美容的に優れている。
- 早く食事が出来る。
- 早く歩ける。
- 早く退院できる。
- * 癒着が起こりにくい。(腸閉塞になりにくい)

などのメリットがあります。

右の写真は当院で腹腔鏡下直腸高位前方切除術を受けられた患者さんのお腹の写真です。ご覧の通り傷は非常に小さく、目立ちません。



・いいことばかりなの？

で書いたように、患者さんにとっては大変メリットのある手術ですが、技術的に難易度が高いので、必ず腹腔鏡でできるとは限りません。その理由として、

モニターで見る[二次元画像]なので視野が狭く、見にくい。

* 鉗子(かんし)が小さく細いので、操作がしにくい。

などが上げられます。このため、腹腔鏡下に手術を行う予定でスタートしても、視野が悪くて続行困難だったり、がんの手術ではより精密なリンパ節郭清が必要だったりして、途中から主治医の判断で開腹手術に移行することがあるのです。また、手術時間は開腹手術より長くなります。

・どんな人でも受けられるの？

がんの場合、病変の進行度、場所、転移の状況などにより、受けられる方と受けられない方がいます。また、循環器系の異常のある方、高度の肥満の方は適応にならないことがあります。

詳しいことをお聞きになりたい方は、鈴木医師の外来を受診してください。

*** 医療用語解説 ***

* 癒着(ゆちゃく)

手術によって傷ついた正常な組織同士を縫合すると、その組織はくっついて自然に治癒(創傷治癒)する。しかし、治癒の過程で本来は離れている組織同士がくっつくことがあり、一般にはこれを癒着あるいは術後癒着と呼ぶ。

開腹手術では、臨床的に問題とされない癒着を含めると90%以上の確率で癒着を生じるとされており、癒着防止目的にさまざまな対策が行われている。

* 腸閉塞(ちょうへいそく)

腸管内容の肛門側への移動が障害される病態をいう。腹部手術後の場合は腸管の運動麻痺が原因となる。

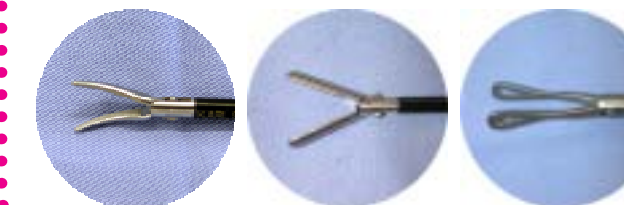
* 鉗子(かんし)

鉗子とは、物をつかんだり、引っばったりするのに使用する器具。

* 鉗子全体像



* 鉗子の先端



* リンパ節郭清(りんぱせつかくせい)

リンパ節郭清とは、悪性腫瘍のリンパ行性転移に対する処置として、リンパ節を切除する外科的治療法である。